



第40回 古牧地区 防火・防犯・交通安全ポスター審査会

8月21日(土)古牧公民館で古牧地区防火・防犯・交通安全ポスター審査会が行われました。

昨年は、コロナ感染拡大のため中止となり2年ぶりの審査会となりました。古牧12区より選



ばれた作品の審査会です。コロナ感染拡大防止対策を行っての開催でした。

今までのような壁へのポスター展示は避け、全作品を床に並べて展示。三密を避けるため、各地区より4名の審査員を事前に選んでいただき12時30分～15時30分までの3時間の間に審査投票に来ていただくという方式をとりました。そのかいあってか、密にもならず無事審査終了できたかと思えます。

コロナ禍の中たくさんの作品を出品いただき、各地区の小・中学校等関係者の皆様、また、共催をいただいた消防団第六分団の皆様ありがとうございました。(安全部)

歴史探索

ぐるりわがまち

中村区

松代藩から発出した『凶作の心得』から学ぶこと

古牧郷土史研究会 小林 敬二

江戸時代、私たちのご先祖は、度々の自然災害に見舞われ、凶作の時はどんな暮らしを強いられていたのでしょうか。

近世の飢饉としては、天明の飢饉と天保の飢饉が最も深刻ですが、いずれも村役人の公用日記が残されているのでその様子を知ることができます。

天明3年(1783年)の飢饉では、北高田村(現在の五分一、北条、中村、川端)が、代官所へ嘆願書で大幅減税を訴え、調査の結果当時の村高の62%ほどの減税が認められました。それほど深刻な凶作だったのでしょう。

一方、天保の飢饉では、天保7年(1836年)松代藩から各村へ触れられた文書『凶作の心得』(写

真)があります。ここには、しばらく飢えをしのご食物として、草や実、根、若芽など20種を超える種類が紹介されており、使う分量、調理方法までこと細かく記されています。また、万一食あたりした場合の薬草まで紹介しています。

飢えで重症になった場合の対処方法、寒さで凍えた人を助ける方法まで実に細かに書かれており、コロナに翻弄されている現在の私たちと比較し、時代は違っても色々と考えさせられることが多々あります。

なお、凶作に備えるため、松代藩のすべての村で食糧の備蓄制度を設けるようになったのもこの頃からでありました。



開きます!! ふるさと文化芸能祭

11月3日(水)文化の日に開催しています「ふるさと文化芸能祭」は昨年に続き古牧小学校体育館で行う演芸部門は中止とし、展示部門のみ古牧公民館で開催します。

開催にあたり、会場作り、搬入・搬出や当日

の来館方法などの運営についても三密となる機会を排除し、コロナ感染予防を徹底します。

詳細につきましては、10月中旬にプログラムを全戸配布させていただきます。ご来館をお待ちしております。(公民館部)

オレンジカフェ「まきば」再開のお知らせ

皆様方には暑い夏の熱中症の心配とコロナ感染の心配、ワクチン接種の心とからだの負担で大変な夏を過ごされたことと思います。

オレンジカフェ「まきば」もそんな中なんとか開催の運びとなりました。消毒、マスク着用、換気、人との距離等、コロナ感染予防対策をしっかりとったうえで行いたいと思います。

認知症予防のため多くの皆様のご参加をお待ちしております。(ボランティア古牧)

期日/10月13日(水)

場所/古牧公民館 集会室

時間/午前10時~12時

内容/トーンチャイムで楽しく脳の活性化

※今回 費用はかかりません。水分補給のためお茶は用意いたします。



私と写真人生

私と写真機の出会いは50年以上前から始まりました。高校生の時「京都・奈良への修学旅行」があり、写真好きな父からマミヤ6(6×6、白黒版)を借り、風景写真や友達との写真を撮ってきました。写真を見ると「なん〜だうまく撮れているじゃん」と、構図も良く、大変満足だった事を覚えています。

それから3年後、月賦でキャノンの一眼レフとレンズ2本を購入しました。これが写真人生の始まりでした。モデル撮影会で初出品の写真が初入選。それから、諏訪大社の御柱祭・諏訪湖の風景、会社の先輩たちの結婚式写真等撮らせて頂き、コンテストにも挑戦し、トロフィーをいただくより、フィルムが欲しいと思

いました。

会社の転勤もあり、写真クラブが無い所に5ヶ所ほど立ち上げ、楽しく過ごさせて頂きました。まだまだやる事はいっぱいありますが…。

幸いにして、私は子2人と孫5人に恵まれております。子供達はそれぞれ自分のしたい仕事に就き、楽しく元気にやって子育て中です。お盆に来てくれた孫達に、このじいちゃんはどう言いました。「趣味は最低3つ持ちなさい。スポーツ、絵、写真、衣食住など何でもいいよ。きっと大きくなったら役に立つからね!」じいちゃんも楽しみに生活するよ! 待っているからね…。

(中澤 誠)

9月から10月までの主な行事实施日のお知らせ → 回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和3年8月1日現在

11,711世帯

(男 13,138人

26,642人

女 13,504人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話 259-8359・FAX219-1057)
(E-mail:komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 児嶋 孝
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 SR



HP
ご覧ください